

平成24年度 事業報告書

平成24年7月1日から 平成25年6月30日まで

特定非営利活動法人 国際インフラ調査会

1 事業の成果

前年度に続きインフラストラクチャーの整備に関する活動を行い開発途上国の国土整備に協力することにより、社会経済の発展を実現し国際協力活動に寄与する活動を行いました。

定款に定めた事業につき

- (1) 開発途上国等の支援のための経済技術協力等事業では、JICA草の根支援事業「ミャンマー国エーヤワディ・デルタ地域における雇用促進のための労働集約型道路整備（路面処理）に関する人的資源開発事業」契約（2012年6月）にともなう事業を本格的に開始し、現地調査実施（2012年7月）に続きミャンマー（2013年1月）と日本（2013年5月）にて日緬簡易舗装技術マニュアル合同技術委員会を開催し作業の進捗をはかりました。協力は順調に推移しました。
また、ミャンマー国橋梁関係協力については2010年度、2011年度と続いた国土交通省NGO支援調査事業が中止となったため2012年度は活動費としては小さいものとどまりました。しかしながら2年度にわたる調査成果の英訳をホームページに掲載したほか、フォローアップ活動として国交省、JICAに対して技術協力プロジェクトを開始すべくプロモートしました。
- (2) 開発途上国等の支援のための技術移転等事業では、「語り継ぐ舗装技術」翻訳作業を継続しました。
- (3) 開発途上国等の支援のための技術交流等事業では、草の根プロジェクトで来日したミャンマー技術委員3名に対してJIP会員、官民の関係者との交流会を開催しました。また他機関実施により来日した橋梁関係PW技術者に対して我が国の技術・文化を紹介するなどの交流を行いました。
- (4) 開発途上国等の支援のための相互理解・友好関係の増進事業では、活動推進会議を月一回ペースで開催し、会員間の情報・意見交換を行いました。ミャンマーでの活動をホームページに掲載、プレスリリースを行い、JICA広報誌6月号のミャンマー関係の記事作成に協力しました。

また、技術交流の拡大と各活動の円滑化のため、情報環境の整備を始めとする事務局機能の強化を行いました。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数(人)	受益対象者の範囲及び人数(人)	事業費の金額(千円)
(1) 開発途上国等の支援のための経済技術協力等事業	JICA草の根支援事業「ミャンマー国エーヤワディ・デルタ地域における雇用促進のための労働集約型道路整備に関する人的資源開発事業」の実施。 ミャンマー橋梁関係協力の推進（橋梁補修等プロジェクト）。	2012.7 ～2013.6	ミャンマー（エーヤワディ地域、ヤンゴン、ネピドー）、 日本	26	エーヤワディ地域住民 100,000	10,987
(2) 開発途上国等の支援のための技術移転等事業	我が国舗装技術書の翻訳事業（昨年続き「語り継ぐ舗装技術」の英訳を継続）	2012.7 ～2013.6	東京	2	開発途上国住民 10,000	309

(3) 開発途上国等の 支援のための技 術交流等事業	技術者交流（ミャンマー技術者の来日にあわせて交流会を実施。我が国の技術文化を紹介）	2012.7 ～2013.6	東京	10	交流参加者 80	167
(4) 相互理解・友 好関係の増進 事業	会員間の情報・意見交換を目的に月例活動推進会議を開催。普及・啓蒙及び広報活動としてホームページを更新し、またプレスリリースの発行を行う。	2012.7 ～2013.6	東京	12	国内関係者 500	200

(2) その他事業

なし